



清洲城信長まつり

清須市を代表するまつりの1つである「清洲城信長まつり」が、10月の1か月間にわたり開催されます。

メインである10月9日(日)には、清須市と市観光協会主催の各種イベント(時代行列など)と同時開催される市商工会主催の清須産業まつり(楽市楽座など)が盛大に行われます。

清洲城にぜひ、お越しください。

◆9日(メイン日)の行事

○時代行列(午前10時30分スタート)

清洲小学校金管バンド部・清洲城鉄砲隊・清洲城武者隊・清洲城織田家臣団「天下布舞」・関ヶ原女性武将隊「巴組」・中学生武将による信長公一行・チビッコかぶと吉法師隊(須ヶ口保育園)・子ども段ボール甲冑隊・タレント「濃姫」・公募「織田信長公」

○アトラクション

キャラクターショー「ウルトラマンオーブ」・女性お笑いコンビ「たんぼぼ」によるスペシャルステージ・お笑いステージ・武将隊ステージ(徳川家康と服部半蔵忍者隊・清洲城織田家臣団「天下布舞」・関ヶ原女性武将隊「巴組」)

○市商工会 清須産業まつり(楽市楽座、清洲市民センターにてステージイベント)

◆10月会期中の催し

清洲城特別展 ～清須コレクション～ (1F展示室)

清洲城茶会 10月2日(日)・9日(日)・16日(日)・23日(日)

清洲城を描く写生大会 10月23日(日)

※詳しくは、広報清須今月号折込チラシをご覧ください。

■問合せ 市観光協会事務局[産業課(本庁舎)内]

2016秋 清須ウォーク

この秋も「清須のまちを知ること」をテーマに「2016秋 清須ウォーク」を開催します。今回は2コースで、ゴールは「はるひ夢の森公園」になります。清須市の豊かな歴史と自然を感じながら、楽しいひとときをお過ごしください。



と き	11月19日(土) 午前9時30分受付開始 [受付は午前10時30分まで 受付後順次スタート] [午後2時までにゴールしてください。] ※少雨決行																			
コ ー ス	①12kmコース<JR枇杷島駅西口 → みずとぴあ庄内(豊公橋方面) → 貝殻山貝塚資料館 → 清洲城 → はるひ夢の森公園> ② 6kmコース<名鉄新清洲駅南口 → 貝殻山貝塚資料館 → 清洲城 → はるひ夢の森公園> ★スロージョギング、ポールウォーキングによる参加可																			
受付場所	①JR枇杷島駅西口 ②名鉄新清洲駅南口																			
対 象	健康な方(小学生以下は保護者同伴)																			
参加費	無料 ※ウォークへの参加を希望する方は、事前にお申込みください。																			
申込方法	はがき又はFAXで、代表者の氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・年齢・性別・参加コース・参加人数(代表者含む。)を記入のうえ、下記あて先までお申込みください。 〔はがき〕 〒452-0915 清須市中河原10番地 清須市新川ふれあい防災センター スポーツ課内「清須ウォーク」募集係 〔FAX〕 052-409-7765	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">記載内容</th> </tr> <tr> <td>■</td> <td>代表者の氏名</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>郵便番号</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>住所</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>電話番号</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>年齢</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>性別</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>参加コース</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>参加人数</td> </tr> </table>	記載内容		■	代表者の氏名	■	郵便番号	■	住所	■	電話番号	■	年齢	■	性別	■	参加コース	■	参加人数
記載内容																				
■	代表者の氏名																			
■	郵便番号																			
■	住所																			
■	電話番号																			
■	年齢																			
■	性別																			
■	参加コース																			
■	参加人数																			
申込締切	11月4日(金)必着																			

■問合せ スポーツ課(新川ふれあい防災センター)☎052-409-1535【月曜日休み】



清須学講座 受講者募集

1 講座概要

- 清須市の歴史や文化を体系的に理解することを通じて、市民の誇り(シビックプライド)を高めていただくために「清須学講座」(全6回)を開設します。

受講資格	高校生以上の方
参加費	600円 ※テキスト代はかかりません。

- 講座内容(予定)は、次のとおりです。[講座は各回90分・会場は清洲市民センター等]
※講座とは別日程で「修了試験」を実施します。(平成29年3月)

第1回	12月13日(火) 午後6時から	「清須の歴史の魅力」 講師：小和田哲男氏(静岡大学名誉教授)
第2回	12月17日(土) 午後1時30分から	「朝日遺跡」 講師：原田 幹氏(県教育委員会文化財保護室主査)
第3回	平成29年 1月14日(土) 午後1時30分から	「清須城・城下町」 講師：鈴木正貴氏(県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
第4回	1月28日(土) 午後1時30分から	「美濃路」 講師：加藤富久氏(郷土史家) 他
第5回	2月 4日(土) 午後1時30分から	「フィールドワーク」 講師：市ガイドボランティア
第6回	2月25日(土) 午後1時30分から	「現代」 講師：山本武司氏(キリンビール株式会社名古屋工場 総務・広報担当)

※講座内容等は、予告なく変更される場合があります。

2 申込方法

市ホームページもしくは企画政策課(本庁舎)に設置の申込書により、11月18日(金)までに次のいずれかの方法でご提出ください。

郵 送 〒452-8569(住所不要) 清須市役所本庁舎 企画政策課 宛て

持 参 企画政策課(本庁舎) F A X 052-400-2963

Eメール kikakuseisaku@city.kiyosu.lg.jp(申込用紙記載事項をEメールで送信)

■問合せ 企画政策課(本庁舎)

皆様のご意見をお聞かせください パブリック・コメント

「清須市第2次総合計画(案)」について

平成19年度から10年間の市の行政運営の指針として策定した「清須市第1次総合計画」は、平成28年度に終期を迎えます。このため、これまで築き上げてきたまちづくりの基盤を活かしながら、未来に向かって更なる前進を図っていくため、新たな行政運営の指針となる「清須市第2次総合計画(案)」を作成しました。

そこで、その内容について、市民の皆さんから意見の募集を行っています。

閲覧場所 閲覧時間	○企画政策課(本庁舎)・西枇杷島支所・清洲支所・春日支所・にしび創造センター・にしびさわやかプラザ・西枇杷島老人福祉センター・カルチバ新川・新川ふれあい防災センター・新川福祉センター・アルコ清洲・清洲市民センター・清洲総合福祉センター・春日公民館・市立図書館 午前8時30分～午後5時15分(閉庁、休館日を除く。) ○市ホームページ パブリック・コメントのページ
意見提出資格	市内にお住まい、お勤め又は在学の方及び事務所又は事業所を有する方
意見提出方法	<p>案件名、氏名(法人名)及び住所を記入のうえ、郵送、FAX、Eメール、窓口又は提出箱への投函により提出してください。</p> <p>様式は問いませんが、市ホームページからダウンロードもしくは各閲覧場所に設置してある提出用紙をご利用いただくことができます。</p> <p>※電話、口頭でのご意見は受付しません。</p> <p>▼郵送(住所不要)・FAX・Eメールの場合 〒452-8569 清須市役所本庁舎 企画政策課 宛て FAX 052-400-2963 Eメール kikakuseisaku@city.kiyosu.lg.jp</p> <p>▼窓口の場合 企画政策課(本庁舎)</p> <p>▼投函の場合 各閲覧場所に設置された提出箱へ投函してください。</p>
意見応募期間	10月31日(月)まで(郵送は締切日の消印有効、その他は締切日必着)
提出されたご意見の 取扱い・対応	提出されたご意見は、整理・分類したうえで、市の考え方とともに一定期間公開します。(個人情報に関しては公開しません。)

■問合せ 企画政策課(本庁舎)



雨水排水対策にご協力ください

近年の集中豪雨により、道路冠水が発生しています。

こうした豪雨による冠水被害の軽減を図るため、道路側溝の清掃、雨水貯留浸透施設設置補助制度及び浄化槽雨水貯留施設転用費補助制度の活用などにより、市民の皆様にご協力をお願いします。

なお、詳しい内容については、担当課へお問合せください。



道路側溝の清掃



地域での道路側溝清掃に伴う蓋上げ機やバール等の無料貸し出しをします。

また、清掃で発生した土砂等を入れるための袋(土のう袋)を支給しています。

なお、清掃で発生した土砂等を入れた土のう袋は、後日、市で回収します。

■問合せ 土木課(西枇杷島庁舎)

雨水貯留浸透施設設置補助制度

雨水を貯めたり、地下に浸透させることで、洪水の抑制をするために次の2つの制度があります。

①雨水貯留槽

雨といなどを利用して、雨水を一旦貯留することにより、河川や排水路に流れ出す雨水の量を抑制する目的で設置する貯留施設で100リットル以上の貯留容量があるものに次の補助をします。

貯留槽100リットルあたり7,000円で、上限の額は7万円です。

②雨水浸透ます

浸透性のますを地中に埋めて効率よく雨水を地中にしみこませ、河川や排水路に流れ出す雨水の量を軽減する浸透施設を設置した場合に次の補助をします。

浸透ます1基当たり3万円を限度に面積に応じた補助をします。上限は、5基です。

■問合せ 都市計画課(西枇杷島庁舎)



浄化槽雨水貯留施設転用費補助制度

下水道への接続に伴い不要となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用する方に、その工事費の一部を市が補助する制度です。供用開始日の翌日から起算して3年以内に排水設備工事と同時に工事を行う必要があります。補助対象工事費の2分の1の額で、限度額は10万円です。

■問合せ 上下水道課(西枇杷島庁舎)





徘徊高齢者検索メールをご活用ください

市内にお住まいの認知症高齢者等が徘徊により行方不明になった場合に、一刻も早く発見・保護することができるよう『清須市徘徊高齢者検索メール』をご活用ください。



☆☆ 徘徊して行方不明になったら ☆☆

すぐに、家族の方から西枇杷島警察署に行方不明届を出してください。
 ※届出時に、清須市徘徊高齢者検索メール配信システムに捜査協力を依頼してほしい旨をお伝えください。
 その後、西枇杷島警察署から清須市役所に連絡がはいりますので、清須市徘徊高齢者検索メール及び市の防災無線にて協力捜索になります。
【注意】市役所が、協力者に情報を配信メールする際、ご家族の希望により個人を特定する情報を配信することもできます。

☆ 『徘徊高齢者登録』の事前登録方法 ☆

対象 市内にお住まいの認知症等により行方不明になる心配のある人
申請先 高齢福祉課(清洲庁舎)
持参するもの 登録対象者の写真(たて45ミリ×よこ34ミリ) ※写真は6か月以内のもので、正面、無帽であること
 ☆登録後の写真つき申請書は、高齢福祉課(清洲庁舎)、市地域包括支援センター及び西枇杷島警察署にて保管します。

事前に登録された方が行方不明になられた際、市地域包括支援センター・市内の捜索に協力していただいている協力事業所等に捜索依頼情報をメールで一斉送信し、可能な範囲で捜索に協力していただくことで、早期発見・早期保護につながります。

■問合せ 高齢福祉課(清洲庁舎)

『介護予防』川柳 優秀作品決定!!

安心して楽しく住み続けることのできる清須市であり続けるために、地域のつながり、お互い様の気持ちで支え合うことは大切なことです。

今年度の介護予防川柳は『人と人とのつながり』をテーマに募集し、206句と大変多くの作品のご応募をいただきました! ご応募くださいました方々、ありがとうございました。

ご応募いただきました作品の中から厳選なる審査の結果、金賞『1句』、銀賞『1句』、入選『9句』が選ばれました。

【優秀作品一覧】

	入選作品	氏名又は ペンネーム(敬称略)
金賞	わが町内 笑顔と笑いで 介護なし	やすらぎ亭 ステーション
銀賞	友と会う 今日サロンへ 元気出る	後藤すゑ乃
入選	こまりがお やさしくたすね おてつだい	志民宏子
	お早うで 始まる挨拶 地域の輪	さくや姫
	声かけて 互いに気づく 思いやり	ミピロン
	ボランティア してるつもりが 支えられ	ベティさん

	入選作品	氏名又は ペンネーム(敬称略)
入選	寄り添えば 笑顔でつなぐ 人と人	重松豊子
	体操で からだづくりと 友づくり	がんばるばあ
	地域の 声かけ合いで 支えあい	光国黄門様
	ごきんじよの あかりがともし ほっとする	光井歌代子
	おかげさん 思う心が 和を結ぶ	丹羽守克

※作品の著作権は、すべて清須市に帰属します。(無断転載禁止)

■問合せ 高齢福祉課(清洲庁舎)



ごみの減量にご協力ください

■問合せ 生活環境課(本庁舎)

可燃ごみを捨てる場合、次のように少し手間をかけていただきますとごみを減量することができます。

●生ごみは水切りをしっかりと

生ごみの約80パーセントは水分です。水切りを行うことによって、ごみ重量を減らすことができます。生ごみの腐敗や悪臭の主な原因は、生ごみに含まれる水分です。水分を減らすための工夫をすることで、悪臭防止に役立つとともに、ごみの減量や温室効果ガス排出削減にも効果があります。ごみの減量化の第一歩として、生ごみの水切りにご協力ください。



生ごみの水分を減らすためのポイント ①濡らさない ②しぼる ③乾かす

●可燃ごみの中の紙類の多くは資源になります

可燃ごみとして出されているものの中に、新聞、雑紙など多く含まれていますが、こうしたものを資源として排出すれば、ごみの量を減らすことができます。

引続き、ごみの減量について、ご理解とご協力をお願いします。

生ごみ減量のための補助制度

“生ごみを減らしながら、堆肥作りをしましょう”

■問合せ 生活環境課(本庁舎)

市では、循環型社会を創出する一環として、次のものに対し補助を行っています。生ごみを減らし、花や野菜への肥料としてご活用ください。

詳しくは、生活環境課(本庁舎)へお問合せください。

補助制度	補助基準	補助限度
電動生ごみ処理機購入補助	購入本体価格の1/2 かつ上限2万円	1基/世帯
生ごみ処理容器(コンポスト)購入補助	購入本体価格の1/2 かつ上限2,000円	1基/世帯
ダンボールコンポスト(セット一式)購入補助	購入本体価格の1/2 かつ上限1,000円	1セット/年度
基材一式(ココピート・もみ殻くん炭・ダンボール)購入補助	購入本体価格の1/2 かつ上限400円	2基材/年度

10月は「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」です

■問合せ 生活環境課(本庁舎)

私たちが日常生活から出す排水は、川や海などの水の汚れの大きな原因となっています。

県では、毎年10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、家庭での生活排水対策や浄化槽の適正管理などと呼びかけています。

生活排水対策は、1人ひとりの取組みが大きな効果をあげます。皆さんも、できることから始めてみませんか。

●身近な生活排水対策

- ・食べ残し・飲み残しを減らす
- ・三角コーナーや水切りネットで、汚れを取り除く
- ・使用済み天ぷら油は、ペットボトルなどに入れ市役所本庁舎へご持参いただくか、新聞紙で吸わせて可燃ごみとして捨てる
- ・食器や鍋の油汚れは、まず新聞紙などで拭き取る
- ・洗剤は、適量を計って使う



●浄化槽の適正な管理

浄化槽を管理する全ての方は、法令により保守点検・清掃を実施し、法定検査を受けなければならないとされています。浄化槽を適正に管理しましょう。

名古屋市五条川工場からのお知らせ



『ごみ処理施設 五条川工場』へ見学にお越しください!

名古屋市では『風土を活かし、ともに創る環境首都なごや』を目指して、「健康安全都市」、「循環型都市」、「自然共生都市」、「低炭素都市」という4つの環境都市像の実現を掲げています。五条川工場は稼働を始めてから今年で12年が経過し、地域の皆様方の生活などから排出される可燃ごみを適正に焼却処理して、清潔かつ快適な生活環境の保全に努めています。つきましては、五条川工場のごみ処理の状況を自由に見ていただく見学会を開催しますので、お気軽に工場までお越しください。

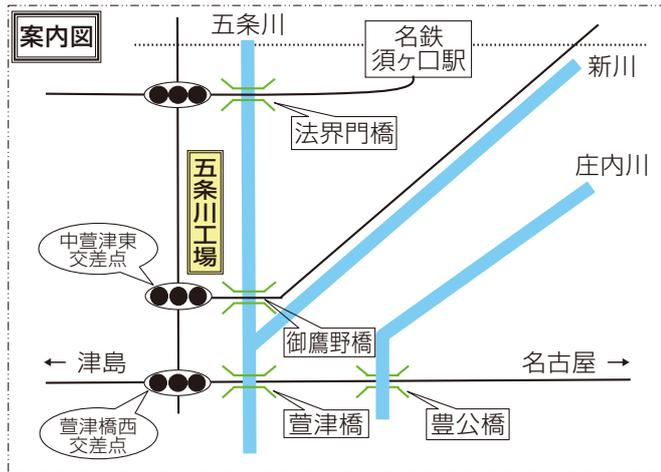
なお、小学生以下の方は、上履きの持参をお願いします。

と き 10月30日(日)
午前9時30分～午後3時
(正午～午後1時を除く。)

見学場所 愛知県あま市中萱津奥野
名古屋市五条川工場

主な内容 工場の自由見学
施設案内のビデオ放映
収集車・燃料電池車展示
スタンプラリー等

問合せ 名古屋市五条川工場
☎052-449-2010



【荒天時等における当日の開催についての問合せ】
名古屋おしえてダイヤル
☎052-953-7584
(当日午前8時から)
※電話番号は、おかけ間違いのないよう
お願いします。

今月のエコチャレンジ

本当は 捨てる物など 無い地球

- ごみを減らすため、詰替商品や低包装のものを選びましょう。
- 買い物には、マイバックを持参しましょう。
- 生ごみの約39パーセントは、食べ残しや保存していたものです。
- 計画を立て、使い切れない量を買わないよう心がけましょう。

【出典：エコチャレ手帳2016(愛知県)】

■問合せ 生活環境課(本庁舎)



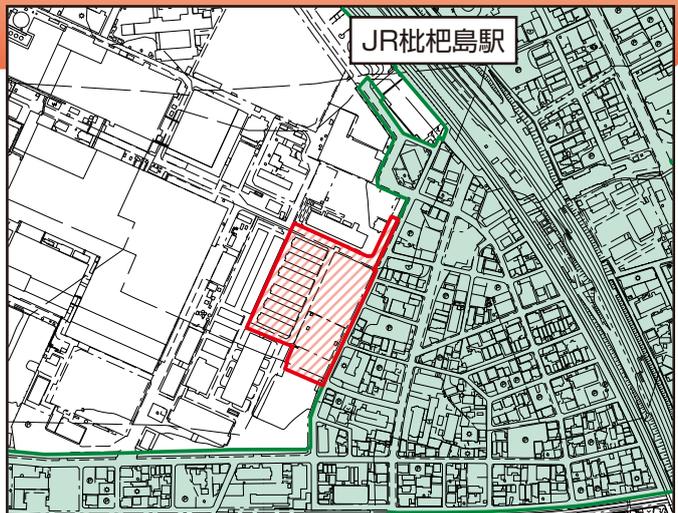
下水道供用開始のお知らせ

10月1日をもって、右図の図面記載の区域の下水道(汚水)の供用が開始されました。供用開始となった区域の家屋の所有者は、汲取り便所にあつては3年以内に、浄化槽にあつては遅滞なく、下水道への接続(排水設備の設置)が義務付けられます。早期の下水道への接続をお願いします。

供用済みの区域で、下水道への接続がお済みでない方も早期の下水道への接続をお願いします。

■供用済区域 ■平成28年10月1日 供用開始区域

■問合せ 上下水道課(西枇杷島庁舎)





市立中学校生徒海外派遣研修報告

市では、国際化に対応する施策の一環として、例年、外国の文化、歴史、習慣などを体験し、国際的視野と見識を深める目的で中学生をオーストラリアに派遣しています。

今年度も、中学生24名が7月29日から8月5日まで研修に参加しました。



オーストラリアには、固有の動物や植物が多く存在します。その中でも有名なのは、コアラ、カンガルー、ユーカリなどです。オーストラリアの空港では、他の国に比べて、多くのもの持ち込みが規制されています。麦わら帽子さえも申告なしには持ち込むことができません。オーストラリアの生態系が崩れることを防ぐためです。

私たちが訪れた、フェザードール動物園では、ワラビーやコアラなどのかわいらしい動物、クロコダイルやエミューのような巨大な動物など、たくさん動物を見ることができ、オーストラリア固有の動物の多さを感じました。ブルーマウンテンズ近辺の森林を見学した際には、さまざまな植物を見ることができました。私が一番驚いたことは、ユーカリが脱皮することです。一部の種類のユーカリは、成長の過程で古い皮がめくれていき、木の枝にぶら下がります。その他にもたくさんの興味深い植物や動物を見ることができました。

現在、世界中の動植物が外来種、環境汚染などの理由で絶滅の危機にひんしています。日本でも、近年、さまざまな動植物の姿が見られなくなってきました。これらの動植物を守っていくためには、私たちが環境について意識しながら生活していく必要があると思います。

オーストラリアの動植物 西枇杷島中学校 飯田かさね

僕たちのオーストラリア研修は、新しいことや慣れないことへの挑戦でした。

一番難しかったことは、コミュニケーションの取り方です。英語漬けの生活は覚悟していたものの、現地に着いて改めて英語の難しさを感じました。会話は次々に先へ進むので、学校で習った文法を思い出して文を組み立てるといふ余裕はなく、言うてから間違いに気づくということや、ジェスチャーを使って伝えることが多くありました。しかし、現地の方々はそんな僕の英語を理解しようとしてくれました。そういったことがあつたに現地の方々の優しさを感じました。

また、バスでの通学時も帰りにどこで降りたらよいか分からず、運転手に尋ねると「バス停に着いたら教えてあげるよ」と親切に教えていただきました。おかげで道に迷うことなく通学することができるようになりました。

今回のオーストラリア研修で僕が学んだことは「伝える」ということの難しさと思いやりの心の大切さです。僕は現地の方がしてくださったように、どんな人に対しても思いやりの心をもって相手とコミュニケーションを取ろうと思います。

コミュニケーションの挑戦 清洲中学校 小久保翔太

今回の海外派遣では、様々な場所でたくさんの人と、様々な目的で交流してきました。そこから私は、世界の国々が友好的な未来を目指していると感じました。特にそう感じるようになったのは、観光地でお土産を買ったときに店員さんが日本語で「ありがとうございました」と言ってくれたことです。全く別の国で、急に日本語が出てきたので驚きました。ほかにも語学学校などの本場の英語を体感できる施設を造ったり、現地の高校で日本語や日本の文化を教えたりするなど、オーストラリアと日本の結びつきが強まっているのを感じました。日本とオーストラリアのように国と国がお互いの言語や文化を学び、交流できる機会が増えてきました。それによって国と国とのつながりが深まり、親しみやすくなって、より明るい国際社会へと進んでいくと思います。

今回、オーストラリアへの海外派遣に参加して、たくさんさんの経験をjして、いろいろなることを学びました。これを自分にとっての未来(国際化)への一歩とし、世界平和と友好のためにつなげていきたいと思ひます。さらに、オーストラリアの文化や習慣などについてもっと知りたいので、その知識や英語をこれから勉強していきたいです。

未来への二歩 新川中学校 中野寿久



伝えたいよする気持ちを前面に！

春日中学校 武村彰剛

僕は今回が初めての海外体験でした。飛行機に乗ってから聞こえてくるのは英語ばかり。注意深く聞いていないと何を言っているかわからなくなり。しかし、重要語句を聞きとることができれば返事はできました。

ホームステイでは、最初コミュニケーションがとれるか不安でしたが、日が経つうちに「OK」「Yes」「No」でしか答えられなかったのが、段々と会話ができるようになっていきました。

コミュニケーションをとることで大切だと思うことはジェスチャーや顔の表情をつけること、「Please」などの丁寧な言い方をして、聞こえなくする気持ち、話そうとする気持ちを出すことだと思えます。表情やジェスチャーをすることであやふやな英語でも相手に何を言いたいかを理解してもらえます。「Please」を使って、とにかくわかる単語を並べるだけでも会話ができたので楽しくなりました。

僕は、今回の海外派遣で伝えようとする気持ちがあれば、言葉の壁を超えることができるということを知りました。もし、日本で困っている外国人を見かけたら、臆せず、積極的に話しかけてみようと思います。もっと英語を勉強してより多くの人と話せるようになりたいと思いました。



7月29日結団式 清洲市民センターにて

◆派遣生徒

【西枇杷島中学校】

齊藤 光・服部真明・山田尚澄・北川知紗子・飯田かさね・後藤優華

【清洲中学校】

安江圭祐・小久保翔太・中野智康・吉田真奈・浮田実咲・古川帆乃

【新川中学校】

吉山大護・中野寿久・宮田弘貴・倉内萌南・古橋歩梨・小村夢杏

【春日中学校】

河口颯真・武村彰剛・安田悠起・阿野朱久李・後藤香菜子・服部彩夏

◆引率教諭

【西枇杷島中学校】 団長 杉 直哉

【清洲中学校】 中川真介

【新川中学校】 中島康雄

【春日中学校】 菱田満理子

平成28年度清須市男女共同参画講演会

『講談で楽しく男女共同参画 女も男も聞いて笑ってイキイキと！』

平成7年度東京女性財団賞、平成14年秋田県横手市文化功労者賞を受賞するなど、女性の地位向上を啓発する社会派講談を得意とする女性真打講談師として活躍中の宝井琴桜氏たからい きんおうが講演を行います。

秋田県横手市生まれ。家電部品メーカーに就職し、余暇に好きな落語をやっていた時、田辺一鶴にスカウトされ講談界に入る。その翌年、大御所の宝井馬琴(5代目)の内弟子となって本格的な修行を始め、昭和50年に夫の琴梅と共に真打となる。

古典講談はもとより歴史上の女たち、また、現代の女性問題を取上げた創作講談を生み出す。仕事と家庭の両立をなすとげた「与謝野晶子物語」、加賀の米一揆を扱った「おかか衆声あわせ」、土佐で参政権運動を行った楠瀬喜多の「民権ばあさん」や「山下さんちの物語」「平塚らいてう伝」「日本女医誕生記」など女性をテーマにした講談で人気を呼んでいます。

当日は宝井さんが、身近で具体的な例を挙げながら、楽しく共同参画のお話をしていただきます。皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。



と き 10月22日(土) 午後1時30分～3時30分【開場 午後1時から】

ところ 清洲市民センター ホール 講師 宝井琴桜 氏

定員 350名 入場料 無料(整理券の配布はありません。)

■問合せ 生涯学習課(清洲市民センター)☎052-409-6471【月曜日休み】



高齢者叙勲

《瑞宝双光章》

長年にわたり、教員として地域教育の振興に尽力された功績によるものです。



(敬称略)
高谷 昭典(清洲)

長年にわたり、保護司として保護観察対象者の社会復帰や改善更生などに尽力された功績によるものです。



(敬称略)
伊藤 忠藏(西枇杷島町下新)

「きよす あしがるバス一日無料デー」を実施します

昨年に引き続き、「きよす あしがるバス一日無料デー」を実施します。
あしがるバスに乗ったことがない方、以前から気になっていたけれど乗る機会がなかった方など、この機会にぜひご利用ください。

実施日 10月9日(日)

ルート オレンジ・グリーン・サクラの全ルート

※時刻表、ルート図については、右のQRコードからご覧ください。



ご利用について

- ・乗車時に、降車場所を乗務員にお伝えください。
- ・車内アンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。
- ・運行時間は、道路事情により遅れる場合がございます。予めご了承ください。
- ・ご乗車いただいた方に、啓発品をお配りします。



当日は、清洲城信長まつりが開催されます。ご来場の際は、オレンジルート「清洲市民センターバス停」又は全ルート「清洲総合福祉センターバス停」をご利用ください。

■問合せ 企画政策課(本庁舎)

**特定健診
GO!**

「健診は一日、健康は一生」 特定健診の受診は12月まで!

市国民健康保険特定健診の受診は、12月までです。生活習慣病の発症と重症化予防の為、必ず受診してください。

【受診の方法】

- ◎個別健診 対象の方には受診券を送付しました。指定医療機関(受診券に記載)に直接、ご予約ください。詳しくは、受診券をご覧ください。

【もれなく特典】

- ◎受診された方全員に、お得な特典(割引、一品サービスなど)が受けられる「信長クーポン券(5枚綴)」をお渡しします。
- ※市国民健康保険の特定健診の対象の方で、お勤め先等で健康診断を受けられた方は、診断結果表を提出していただくと、「信長クーポン券」をお渡しします。
- ※後期高齢者健診をご利用された方にも「信長クーポン券」をお渡しします。



指定医療機関
QRコード

健診は一日、健康は一生。

特定健診の受診券、届いていますか？
生活習慣病からあなたを守るための
簡単で大切な健診です。

40歳過ぎたら「体・技・心」。

山本 昌

■問合せ ●国民健康保険について 保険年金課(本庁舎)
●特定健診について 健康推進課(清洲庁舎)

平成27年度 ふるさと納税寄附金の実績

平成27年度に全国の延べ923人の方々から、ふるさと納税として1,280万5,531円の寄附をいただきました。

■問合せ 企画政策課(本庁舎)



アルコ清洲 臨時休館のお知らせ

アルコ清洲(清洲2537番地)は、次の期間、館内の施設設備点検のため、臨時休館します。ご理解とご協力をお願いします。

期 間 10月31日(月)～11月7日(月)



■問合せ アルコ清洲 ☎052-409-8181

にしび創造センター 臨時休館のお知らせ

にしび創造センター(西枇杷島町小田井一丁目12番地1)は、10月10日(祝)に館内一斉清掃を行うため、臨時休館します。

ご理解とご協力をお願いします。



■問合せ 高齢福祉課(清洲庁舎)

市民記者がゆく! まちなかWatch 17
あいさつやスポーツ体験で心も体も健康に 市民記者 小出美佐子

夏休みも終わり、2学期の始業式の朝、生徒や児童、先生方の他に春日地区の家庭教育推進連絡協議会の方や交通安全協会の役員さんらが並び、春日小・中学校の校門の前では、元氣いっぱいにあいさつしている風景を見ることができました。

小学生の通学団の列と登校する中学生がすれ違うときには、校舎のなかまで届きそうな「おはようございませう」の声に、私も目がすっかり覚め、1日の始まりを気持ちよく迎えられ、「今日も一日がんばってね」と応援したくなりました。



登校時の春日中学校校門前の様子

先日、みずとびあ庄内付近の庄内川で、子どもから大人まで参加してカヌー体験が開催されました。川から見る河川敷の緑や

遠くに見える名古屋駅の高層ビル群などの景色も楽しめ、参加者とはとても気持ち良さそうにカヌーを漕いでいました。この日は、カヌー体験だけでなく、河川敷では防災食を作って試食したり、子ども会のジュニアリーダーたちがゲームをしたりして、参加者は楽しんでいました。



庄内川で行われたカヌー体験

また、その横のグラウンドでは、野球を楽しんでいる人たちも見られ、河川敷に多くの人が集まり、休日のひとつを楽しんでいる光景がとても新鮮でした。

みんなが集い、各々が好きなことをして楽しんでいるこんな素敵な場所が、清須市にはあります。皆さんも健康のために散歩をしながら、自分が素敵だと思える場所を探してみてください。